

各都道府県の動向

宮城県

「宮城県の取組」

宮城県小学校社会科研究部会

部会長 山澤 一郎

始めに能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本県では十一月に「令和五年度第五十三回宮城県小学校社会科教育研究大会石巻大会」が石巻市立釜小学校で開催されました。大会主題を「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を解決する力を育てる社会科学習」と協同学習を通して主体的に考えたり判断したりする児童の育成」とし、授業研究や実践発表がなされました。学びの多い大変充実した大会となりました。閉会行事では震災関連施設の紹介が行われ、改めて防災教育の重要性を認識したところです。

他にも各地域で研究会が活発に行われました。今後も本県社会科教育の発展を願い、より一層努力して参ります。

愛知県

「愛知県の取組」

愛知県教育研究会社会科教育部会

会長 松河 由美子

本県では、研究主題を「社会的な見方や考え方を働かせ、仲間とともによりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業」と設定しています。授業の中で学び合う仲間と対話すること、子どもが自分自身の考えを深めたり広げたりして問題解決を図り、よりよい社会づくりにかわりたいと思えるようになることを目指します。

今年度は八月一日に愛知県社会科教育研究大会を三百四十名の参加者のもと岡崎市で開催しました。文部科学省の教科調査官である小倉勝登先生のご講演及び七分科会で実践発表と意見交換を行いました。他地域の研究成果を知ることの意義は大きく、満足度の高い研究大会となりました。

今後も各地区で研究を重ね、実践を積み上げていきたいと思っています。

和歌山県

「和歌山県の取組」

和歌山県小学校教育研究会社会科部会

部長 倉本 和昌

令和七年二月六日、七日に和歌山県において令和六年度全国小学校社会科研究協議会研究大会を開催いたします。

「持続可能な社会の実現を目指す子供たち」一人一人が追求し、追求し合う学習を大切にしたい」と大会主題に設定して研究実践を進めているところです。

子供たち一人一人が社会に実在する様々な課題に着目し、自らの個性的な能力を生かしながら新たな価値観を見出し、多様な他者と協働し「最適解」や「納得解」を紡ぎ出していく学びの姿の一端をお見せできればと考えております。

コロナ禍の影響で満足のいく研修ができないう時期もありましたが、この機会を通して本県社会科教育の発展を図ってまいります。

多数のご参加をお待ちしております。

徳島県

「徳島県の取組」

徳島県小学校社会科教育協議会

会長 山川 育英

本県では、研究主題を「未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子供が育つ授業の創造」とし、問題解決的な学習過程に則った単元を構想し、社会的な見方・考え方を働かせながら、社会的事象に対するしつかりとした認識と判断する力の両面を育んでいこうとしています。

単元全体を通して①子供の意識をつなぐ単元構想や振り返り②判断場面を設定する際の教師の手立て③ICTの効果的な活用について、小倉勝登先生や澤井陽介先生、鎌田和宏先生にご指導を受け、研究内容の解明をめざしています。令和八年十一月十九、二十日の徳島市における全国大会に向けて、本県社会科教育充実と新たな発展に努めて参ります。

長崎県

「長崎県の取組」

長崎県小学校教育研究会社会科研究会

部長 末永 道弘

本県では、数年前から研究主題を「自ら社会に関わろうとする子供を育む社会科学習」とし、社会的な見方・考え方を働かせる授業の工夫を通して、主題に迫ろうと研究しています。

また、県小社研では、諸先輩方が、半世紀も前から、問題解決的学習指導法に目をつけ、子供の探究心を深める研究を続け、授業における子どもの具体的な学びの姿の研究成果を発信してきました。今年度の基調提案や実践例も、過去積み重ねてきた研究をもとに、問題解決的学習の流れを踏襲しています。

令和六年十一月二十九日には、長崎市で第五十八回九州小学校社会科研究協議会研究大会を長崎市立南長崎小学校で行います。皆様、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

全小社研

・発行所
・全国小学校社会科研究協議会
・東京都板橋区上板橋 1-3-1 夫 田 幹 仲 和 澤 小
・発行人
・編集人

社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決を図る

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官

小倉 勝 登

1 小学校社会科学習の大前提
小学校社会科がどのような学習を通して、資質・能力を育成

するのか、育成する過程が、目標の柱書きに示されている。それを基に示すと、小学校社会科は、資質・能力を育成するためには、「社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を通ず」ことが大前提と言いうことになる。

この「社会的事象の見方・考え方を働かせ」に焦点をあて解

2 社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決を図る

「位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して（視点）、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（方法）」

と考えられ、私たちが社会的事象を捉えて、その社会的事象のもつ特色や意味を、本質のようなものを捉える時に、「どこを見たらいのか」「何を見たらいのか」という着目する「視点」と「どのように考えたらいい

のか」という「方法」である、ということが出来る。ここで、確認しておきたいのは、社会的事象の見方・考え方は、そのものが資質・能力ではなく資質・能力【(1)(2)(3)の柱】全体にかかわるものである、ということである。

3 社会的事象の見方・考え方を働かせ

「社会的事象の見方・考え方を働かせ」とは、解説を参考に整理すると、

（位置や空間的な広がり）（時期や時間の経過）（事象や人々の相互関係）などを問う視点から、

それぞれ問いを設定して、社会的事象について調べて、その様子や現状などを捉えることであり、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする方法で、

考えたり選択・判断したりすることということができる、視点に着目して、問いを設定して調べるこ

と、比較・分類・総合・関連付けなどをして考えたり選択・判断したりすること、そのような学び方と捉えることができる。

4 社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決を図る
単元デザイン

実際に「子供たちが、自ら社会的事象の見方・考え方を働かせて、問題解決を図る」ように単元をデザインするときに大切なことは、次のように教師が意図的に単元デザインすることが重要である。

ものがあるだろう」などと問えば、子供たちは「分布」という視点で捉えていくことになる。この教師の仕掛けが重要である。

5 社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる

社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせるように教師が意図的に単元デザインしていくことで、子供たちの中で社会的事象の見方・考え方が鍛えられ、他の社会的事象に出合ったときに、これまで身に着けた視点と方法で追究を図っていくことになるものと考えられる。この単元デザインするときのポイント

①…学習指導要領の内容の中で、いくつかの単元を含んでいるものについて、同じ社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を図るものを読み取る。

②…小学校学習指導要領

解説 社会編 p.150・151
（平成29年告示）

「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」を参考に、類似した内容や内容同士の関係性、内容の系統性などを読み取る。

一 はじめに
八百万の神々が、一年に一度、出雲の国にお集まりになる神在月の時季に、第六十二回全国小学校社会科研究協議会研究大会を、島根県で開催することとなりました。本県においては、昭和五十四年以来の全国大会となります。学習指導要領改訂から六年を経過して迎える今大会では、今後の社会科の進むべき方向性を見据えながら、これまで島根県社会科が大切に取り組んできた、地域に学び、未来を共に拓く生き方を問い続ける社会科学習と互いに関わりながら、主体的に考え、追究する力の育成を目指して、

①大会主題

地域に学び、未来を共に拓く

生き方を問い続ける社会科学習

と互いに関わりながら、主体的に考え、追究する力の育成を

目指して、

提案できればと考えています。

提案できればと考えています。

二 大会の概要

①大会主題

地域に学び、未来を共に拓く

生き方を問い続ける社会科学習

と互いに関わりながら、主体的に考え、追究する力の育成を

目指して、

提案できればと考えています。

②研究内容

社会に関わり、そこで見つけた疑問や課題を自分自身の課題として捉え、追究することを通してその社会のしくみやあり方がわかり、わかったことや自分を含めた人々の思いや願いをもとに、社会に働きかけたり自分の生き方を考えたりすることが

できる、これが、わたしたちの目指す子ども達の姿と考え、【小学校の四年間で目指す子ども像】を「社会がわかり、社会に働きかけることができる子ども」としました。

そして、その実現に向けて、「教材開発」「学習過程と問い」「一時間一時間の学習が充実するための支援」の三点を重点項目として掲げました。その中でも、特に「学習過程と問い」の中の「知識と問いの構想図」の作成に力を注いでいます。「知識と問いの構想図」は、単元全体で育成させたい資質・能力、単元・本時で獲得させたい知識、子どもに働かせたい社会的事象の見方・考え方を働かせることができる問い等が俯瞰できる図と捉えており、全国大会の場において提案できればと考えています。

提案できればと考えています。

提案できればと考えています。

提案できればと考えています。

③記念講演「江戸という時代」

江戸時代の政治や社会に造詣の深い、

東叡山輪王寺門跡門主・寛永寺貫首

浦井 正明先生

東京学芸大学名誉教授

大石 学先生

徳川林政史研究所特任研究員

浦井 祥子先生

をお迎えし、「江戸という時代」と題して、江戸のくらしや政治、さらには、時代の捉え方など、授業づくりにもつながる示唆に富んだご講演を賜りました。

【大会第二日】 四会場校

各会場では大勢の参加者を迎え、公開授業、会場校提案、指導講評、学年別授業研究会、学年別課題研究会が行われました。最後まで熱い議論が交わされ、非常に充実した研究会となりました。

①第一会場： 新宿区立四谷小学校

（講師：大妻女子大学教授 澤井 陽介先生）

当日の授業では、「未来の社会を創ることにつながる見方・考え方を養う事例や人物の教材化」「じぶんタイム・みんなタイム・ふりかえりタイム」「子供が学び

②第二会場：

中央区立日本橋小学校

（講師：國學院大学教授 安野 功先生）

「地域教材の開発」「教材との出合いの工夫」「学習内容のまとまり」との問題解決的な学習を大切に「日本橋スタイル」に基づいた授業を公開しました。老舗百貨店、日本橋最大のお祭り「べつたり市」、文房具メーカー、

結びになりますが、本大会の開催にあたりまして温かいご支援ご指導を賜りました文部科学省、東京都教育委員会、各区市教育委員会、講師の先生方、各会場校の教職員・PTAの皆様、提案・司会・記録等でご協力いただいた皆様、研究推進にご尽力いただいた都小社研研究推進委員・各地区社会科部の皆様、並びに大会運営にご協力いただいた関係の皆様、これまでのご苦勞、ご尽力に対して心から敬意と感謝の意を申し上げます。

全小社研の諸事業につきましては、各単位団体の理事・会員の皆様にご理解とご協力をいただきます。ご協力ありがとうございます。

十一月九日(木)の東京大会第一日目に、浅草ビューホテルで、第一一五回理事会を参集型で開催いたしました。また、理事会後には、四年ぶりとなるレセプションを同ホテルで開催いたしました。

一次年度全国大会の予定

○第六十二回島根大会

令和六年十月三十一日(木) 十一月一日(金)

○令和六年度和歌山大会

令和七年二月六日(木) 七日(金)

令和七年度に実施される大会の日程も決定しました。

○第六十三回群馬大会

二 研究集録第五九集の発行

今年度も個人論文の応募をいた

ださありがとうございます。

文部科学省教科調査官小倉勝登先生に論文審査をお願いし、優秀論文をまとめた研究集録を三月末に刊行し、配布いたします。

三 「各地域の動向」の作成

毎年度各単位団体の組織・事業計画・研究校等を調査し、冊子にまとめ、配布しておりますが、今年度は配布が大幅に遅れます

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

六 個人会員の募集

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

全小社研事務局だより

全国小学校社会科研究協議会事務局局長 風見 由起夫

全小社研の諸事業は、各単位団体の理事・会員の皆様にご理解とご協力をいただきます。ご協力ありがとうございます。

十一月九日(木)の東京大会第一日目に、浅草ビューホテルで、第一一五回理事会を参集型で開催いたしました。また、理事会後には、四年ぶりとなるレセプションを同ホテルで開催いたしました。

一次年度全国大会の予定

○第六十二回島根大会

令和六年十月三十一日(木) 十一月一日(金)

令和六年度和歌山大会

令和七年二月六日(木) 七日(金)

令和七年度に実施される大会の日程も決定しました。

○第六十三回群馬大会

二 研究集録第五九集の発行

今年度も個人論文の応募をいた

ださありがとうございます。

文部科学省教科調査官小倉勝登先生

に論文審査をお願いし、優秀論文をまとめた研究集録を三月末に刊行し、配布いたします。

三 「各地域の動向」の作成

毎年度各単位団体の組織・事業計画・研究校等を調査し、冊子にまとめ、配布しておりますが、今年度は配布が大幅に遅れます

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

東京大会報告

全国小学校社会科研究協議会会長 和 田 幹 夫

令和五(二〇二二)年十一月九日・十日、国内外から大勢の観光客で賑わう浅草寺に近接する台東区浅草公会堂及び、東京都内の特色ある四地域に位置する新宿区立四谷小学校、小金井市立小金井第一小学校、中央区立日本橋小学校、世田谷区立代沢小学校を会場として、第六十一回全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会を盛会裏に終了することができました。これまで大会を支えてくださったすべての皆様に関心より感謝申し上げます。

今回は、昨年五月、新型コロナウイルス感染症の五類移行により、行動制限がなくなったことを受け、二日間を通じて全国から一六〇〇名を超える参加者をお迎えし、対面参加形式ですべてのプログラムを滞りなく実施

【大会第一日】 浅草公会堂

大会主題「社会とつながり未来を創る子供の育成」社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に追究する学習を通して、の実現を図る授業のあり方について、教材開発や教材の分析という単元構想と、授業づくりの手だての工夫という二つの側面から具体的に提案をしました。

【大会第二日】 四会場校

各会場では大勢の参加者を迎え、公開授業、会場校提案、指導講評、学年別授業研究会、学年別課題研究会が行われました。最後まで熱い議論が交わされ、非常に充実した研究会となりました。

①第一会場： 新宿区立四谷小学校

（講師：大妻女子大学教授 澤井 陽介先生）

当日の授業では、「未来の社会を創ることにつながる見方・考え方を養う事例や人物の教材化」「じぶんタイム・みんなタイム・ふりかえりタイム」「子供が学び

②第二会場：

中央区立日本橋小学校

（講師：國學院大学教授 安野 功先生）

「地域教材の開発」「教材との出合いの工夫」「学習内容のまとまり」との問題解決的な学習を大切に「日本橋スタイル」に基づいた授業を公開しました。老舗百貨店、日本橋最大のお祭り「べつたり市」、文房具メーカー、

結びになりますが、本大会の開催にあたりまして温かいご支援ご指導を賜りました文部科学省、東京都教育委員会、各区市教育委員会、講師の先生方、各会場校の教職員・PTAの皆様、提案・司会・記録等でご協力いただいた皆様、研究推進にご尽力いただいた都小社研研究推進委員・各地区社会科部の皆様、並びに大会運営にご協力いただいた関係の皆様、これまでのご苦勞、ご尽力に対して心から敬意と感謝の意を申し上げます。

全小社研の諸事業は、各単位団体の理事・会員の皆様にご理解とご協力をいただきます。ご協力ありがとうございます。

十一月九日(木)の東京大会第一日目に、浅草ビューホテルで、第一一五回理事会を参集型で開催いたしました。また、理事会後には、四年ぶりとなるレセプションを同ホテルで開催いたしました。

一次年度全国大会の予定

○第六十二回島根大会

令和六年十月三十一日(木) 十一月一日(金)

令和六年度和歌山大会

令和七年二月六日(木) 七日(金)

令和七年度に実施される大会の日程も決定しました。

○第六十三回群馬大会

二 研究集録第五九集の発行

今年度も個人論文の応募をいた

ださありがとうございます。

文部科学省教科調査官小倉勝登先生

に論文審査をお願いし、優秀論文をまとめた研究集録を三月末に刊行し、配布いたします。

三 「各地域の動向」の作成

毎年度各単位団体の組織・事業計画・研究校等を調査し、冊子にまとめ、配布しておりますが、今年度は配布が大幅に遅れます

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

令和五(二〇二二)年十一月九日・十日、国内外から大勢の観光客で賑わう浅草寺に近接する台東区浅草公会堂及び、東京都内の特色ある四地域に位置する新宿区立四谷小学校、小金井市立小金井第一小学校、中央区立日本橋小学校、世田谷区立代沢小学校を会場として、第六十一回全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会を盛会裏に終了することができました。これまで大会を支えてくださったすべての皆様に関心より感謝申し上げます。

今回は、昨年五月、新型コロナウイルス感染症の五類移行により、行動制限がなくなったことを受け、二日間を通じて全国から一六〇〇名を超える参加者をお迎えし、対面参加形式ですべてのプログラムを滞りなく実施

【大会第一日】 浅草公会堂

大会主題「社会とつながり未来を創る子供の育成」社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に追究する学習を通して、の実現を図る授業のあり方について、教材開発や教材の分析という単元構想と、授業づくりの手だての工夫という二つの側面から具体的に提案をしました。

【大会第二日】 四会場校

各会場では大勢の参加者を迎え、公開授業、会場校提案、指導講評、学年別授業研究会、学年別課題研究会が行われました。最後まで熱い議論が交わされ、非常に充実した研究会となりました。

①第一会場： 新宿区立四谷小学校

（講師：大妻女子大学教授 澤井 陽介先生）

当日の授業では、「未来の社会を創ることにつながる見方・考え方を養う事例や人物の教材化」「じぶんタイム・みんなタイム・ふりかえりタイム」「子供が学び

②第二会場：

中央区立日本橋小学校

（講師：國學院大学教授 安野 功先生）

「地域教材の開発」「教材との出合いの工夫」「学習内容のまとまり」との問題解決的な学習を大切に「日本橋スタイル」に基づいた授業を公開しました。老舗百貨店、日本橋最大のお祭り「べつたり市」、文房具メーカー、

結びになりますが、本大会の開催にあたりまして温かいご支援ご指導を賜りました文部科学省、東京都教育委員会、各区市教育委員会、講師の先生方、各会場校の教職員・PTAの皆様、提案・司会・記録等でご協力いただいた皆様、研究推進にご尽力いただいた都小社研研究推進委員・各地区社会科部の皆様、並びに大会運営にご協力いただいた関係の皆様、これまでのご苦勞、ご尽力に対して心から敬意と感謝の意を申し上げます。

全小社研の諸事業は、各単位団体の理事・会員の皆様にご理解とご協力をいただきます。ご協力ありがとうございます。

十一月九日(木)の東京大会第一日目に、浅草ビューホテルで、第一一五回理事会を参集型で開催いたしました。また、理事会後には、四年ぶりとなるレセプションを同ホテルで開催いたしました。

一次年度全国大会の予定

○第六十二回島根大会

令和六年十月三十一日(木) 十一月一日(金)

令和六年度和歌山大会

令和七年二月六日(木) 七日(金)

令和七年度に実施される大会の日程も決定しました。

○第六十三回群馬大会

二 研究集録第五九集の発行

今年度も個人論文の応募をいた

ださありがとうございます。

文部科学省教科調査官小倉勝登先生に論文審査をお願いし、優秀論文をまとめた研究集録を三月末に刊行し、配布いたします。

三 「各地域の動向」の作成

毎年度各単位団体の組織・事業計画・研究校等を調査し、冊子にまとめ、配布しておりますが、今年度は配布が大幅に遅れます

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会

全小社研の諸事業は、各単位団体と個人会員の会費等で成り立っています。社会科教育を一層発展充実させていくために、来年度も、多くの皆様の個人会員としての参加をお願いいたします。

個人会費 年額 一、五〇〇円

郵便振替口座番号

〇〇一〇〇一六二八二五五七

全国小学校社会科研究協議会